

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	東京外国語大学	整理番号	1-2-075
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	26 言語情報リテラシー教育プログラム		
申請単位	学部単位		
申請担当者	林 佳 世 子		
(取組の概要)			
<p>本教育プログラムは、インターネットと情報基盤を活用し、東京外国語大学外国語学部の教育課程全般の情報化をめざす取組である。大学の教室と世界の諸地域を直結させるインターネットは、世界の「言語と地域」に関する本学の教育を根底から変えつつある。</p> <p>本プログラムは、2000 年のキャンパス移転により情報基盤が整備されたのを契機に本格的にスタートし、すでに 3 年の実績をもつ。①情報基盤の整備、②多言語に特化した情報リテラシー教育の実施、③言語教育・専門教育における情報化した授業の実施のための授業支援、の 3 つの取り組みが行われ、その成果は、コンピュータ利用における学生の多言語操作能力と多言語情報の収集・処理能力の向上、「言語と地域」教育に対する学習意欲の増進、すぐれた卒業論文研究として結実している。本プログラムは外国語学部・情報処理センター・附属図書館の全学協働体制で実施されており、今後さらなる展開を計画している。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、東京外国語大学が大学に課せられた使命である外国語教育を充実させるために、2000 年から着手したコンピュータ情報化です。国際化や情報化が叫ばれてきた中で、当大学が努力し整備した情報化体制は、我が国の多言語教育の進展に資するものとして大いに評価することができます。この体制が一東京外国語大学の資産とされるのではなく国民の共有財産として他の語学系大学はもちろん広く開放されることが期待されます。ただ、この取組の教育上の具体的効果がみえていないくらいがあり、今後のこのシステムを活用した更なる工夫に期待したいと思います。</p>			